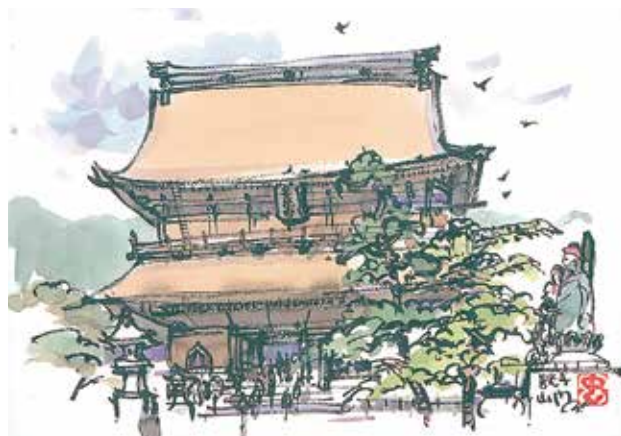


THE ROTARY CLUB OF NAGANO
長野ロータリークラブ

例会/毎週火曜日 12:30~13:30 ホテル国際21
事務局/長野市県町576 Tel.026-235-5493 Fax.026-235-4146

会長/中島克文 幹事/宮澤政徳 クラブ会報・雑誌委員/堀江三定



善光寺山門 長澤忠信 画

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

■司 会 : 吉江覚副SAA

■点 鐘 : 中島克文会長

■ソング : 「信濃の国」

■会長挨拶 : 中島克文会長

11月5日付で、次年度の役員の指名委員会の委員を指名させて頂きましたので、ご報告致します。

さて前回、弊社で長野駅の始発の鐘を鳴らす役目を請け負っていて、その鐘は今でも長野駅に残っているかというお話をしましたが、JRの松橋支社長から早速ご連絡を頂き、「長野駅長室に綺麗なガラス張りの箱に入れて保存してあるのでいつでも見に来て下さい」というご報告を頂きましたので、また見に行きたいと思えます。今日は如是姫の物語をお話しします。長野駅が昭和11年に3代目の仏閣型駅舎になったのと併せて、駅前広場に如是姫像が建立されました。この像は元々、明治41年に善光寺本堂西側に築かれた池泉に善光寺に向かって建立された銅像でした。作者は彫刻家・竹内久一氏、東京芸術大学の前身・東京美術学校彫刻科の教授を務めた大家です。伎芸天立像、神武天皇立像など、代表作の多くは東京芸術大学が収蔵しています。如是姫は善光寺縁起で語られているインドの月蓋長者の娘で、再起不能の疫病にかかって息絶えた時、阿弥陀如来に助けられました。それまで信仰心のなかった長者は喜び、お釈迦様に向かって阿弥陀如来のお姿を映した像を作り、奉仕したいと願います。お釈迦様の取り計らいにより、長者が竜王からもらい受けた閻浮檀金という、仏の世界の金塊が転じた一光三尊の阿弥陀如来像が、やがて朝鮮の百済を経て日本に渡り、本田善光によって信州へ運ばれます。善光寺の御本尊像と伝わっています。そうしたゆかりで善光寺に如是姫の像が建立されました。建立されたのは現在

の如是姫像とは違い、両手で水盤を掲げ持ち、善光寺に向かって感謝を捧げる姿でした。この像が、数十年を過ごした善光寺境内から、仏閣型の駅舎となった長野駅の前に移築されました。移築された如是姫像は、もちろん善光寺の方向に体を向けて建立されました。仏閣型の長野駅舎と共に、仏都長野の象徴として、市民にも観光客にも愛されていたことは、想像に難くありません。現在、長野駅前に座す如是姫像は2代目です。彫刻界、美術界でも傑作と言われる作品であった初代如是姫像は、第二次世界大戦中に無残にも軍用の金属として供出されてしまいました。日本軍が真珠湾攻撃により太平洋戦争が開戦の火蓋を切ってから間もない昭和15年、銅葺だった長野駅舎の屋根が軍へ供出されました。取り外された銅板の代わりに天然スレートが葺かれました。金属供出が義務化されることになる国家総動員法が施行されるのは昭和16年、長野駅の屋根はそれより前の供出ですから、鉄道や駅が公共のインフラというより国家の設備であったことを物語っています。戦況が悪化の一途を辿る中、昭和19年春にはこの如是姫像も供出されてしまいます。当時は各県の責任において、官公署、職場、家庭の区別なく日本中の金属が根こそぎ回収されました。善光寺の六地藏、現在の松屋旅館前にある延命地藏尊、本堂前の香炉をはじめ、あらゆる金属が供出となる中、如是姫も例外ではありませんでした。「まだ出し足らぬ家庭鉞」これが国家のスローガンだったので、実に驚くべき時代です。如是姫像が去った後、残された台座の下は防空壕になりました。戦中、末広町では区長代理として隣組を取りまとめていた祖父・中島卯助と町内の四氏が編集を担当し、出征兵への慰問に送ろうと、地域のことを伝えるミニ新聞を発行していました。その名も「如是姫便り」。末広町にとって長野駅前の如是姫像はシンボルだったのです。それが供出され、台座だけが残し、そこにぽっかりとあ

けられた防空壕が目に入るたび、祖父や地域の商店の皆さんは複雑な思いだったことと思います。如是姫便りは軍機に触れる恐れがあり、とのことで、卯助が警察に呼び出されたり、検閲がうるさくなったことから、8号まで発行して廃刊となりました。

戦後、長野観光協会の発願により、昭和23年に再建されました。原型の作者は富山県黒部の彫刻家で、初代如是姫像作者・竹内久一氏の弟子・佐々木大樹氏、ブロンズ鑄造は富山県高岡市の老舗・高岡鑄芸社の堺幸一氏。実は善光寺の香炉や六地藏も同じ組み合わせでの制作です。北陸新幹線で近くなった富山とはこんなご縁があったのだと思っています。片手に水盤を掲げ持ち、善光寺に向かって立つ2代目如是姫像も美しく、なかなかの傑作だと思います。長野商工会議所の提案で、末広町と駅周辺の町で協力し、昭和25年から如是姫を供養する「如是姫祭り」を開催することになりました。稚児行列などもある盛大なお祭りで、昭和37年まで毎年5月に行われました。市政100周年を迎えた平成9年に復活し、善光寺の協力も得て、「如是姫祭り」として毎年開催されています。ちなみに『如是姫便り』は現在末広町の協同組合「ナガノ駅前センター」のHPの名称として、末広町の情報発信に役立てています。『如是姫便り』は会報としても年6回発行して、現在123号になっています。



善光寺から移転の初代如是姫像
(後方の建物は国鉄長野管理局)

■新会員紹介 : 中島克文会長

・橋本忍さん(サントリービバレッジサービス(株)長野支店支店長) 1969.1.5生

所属委員会…親睦活動・家族委員会

歴史あるこの会に参加させて頂き、感謝しています。この縁を大事に、皆さんと交流を重ねていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

■白川IM委員長より連絡

11月27日(土)インターシティミーティング及び会員セミナーが開催されます。資料には、組織表と担当実行委員が記載されています。廣田一博さんには総務委員会と受付委員会、藤井大史郎さん(実行副委員長)には進行委員会と会場設営委員会と接待委員会、塚田まゆりさんには会計と記録を担当して頂きます。総務委員会委員長は野路さん、受付は小林委員長、進行委員会は高見澤委員長、会場設営委員会は澁谷委員長、接待委員会は小山委員長、会計は堀越委員長、記録は岩淵委員長にお願いしています。総務委員会担当はクラブ奉仕委員会、戦略計画委員会、国際奉仕委員会、米山奨学会、ロータリー財団、ロータリー情報委員会の方々がメンバーです。受付は、広報委員会、公共イメージ向上委員会、社会奉仕プロジェクト委員会、出席委員会の方々が担当です。進行はSAAと副SAA、プログラム委員会が担当です。会場設営は親睦活動・家族委員会とニコニコBOX委員会が担当です。接待は職業分類と会員選考と会員増強と青少年奉仕ローターアクト委員会が担当です。会計は会計と会計監査の方々にお願いします。記録は職業奉仕委員会、ロータリーボランティア委員会、クラブ会報雑誌委員会が担当です。自分の担当のものについてはそれぞれ確認しておいて下さい。次の11月16日の例会のあと、IMの全体会議を行います。これは27日のIMに出席する方のみで詳細の打ち合わせをしますので、各委員長を中心にしてお集まり下さい。友愛の広場と懇親会については、新型コロナ感染対策として中止としましたのでご承知おき下さい。

■出席報告 : 福岡高委員

・本日の出席人員 70名 ・無断欠席者数 3名
・出席率 60.9% ・前々回訂正出席率 83.3%

■ニコニコBOX報告 : 笠井澄人委員長

・市川公一さん…このたび図らずも黄綬褒章を受章致しました。ひとえに皆様にご指導頂いた賜物であり、心から感謝致します。ありがとうございます。

・お祝い会員…2名

合計 20,000円 累計 1,037,500円

■会員卓話 :

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
長野支社長 澁谷 泰宏 さん
「サッカーと私」

私とサッカーの出会いは、埼玉県大宮市大砂土東小学校のサッカー部で、なぜかゴールキーパーをやりました。なぜゴールキーパーを選んだのか、記憶にありません。1人だけ違うユニフォームで目立つんじゃないかと、監督が姉の担任だったとか、当時背が高かったとか、そのへんがキーパーになった理由だと思います。ゴールキーパーは今や世界的に見ても190cmは当たり前で、背が高い、腕が長い、手が大きい、ジャンプ力がある、俊敏性がある、勇敢であるというのが必要な部分だと思いますが、私のキーパーのイメージは違います。私の中では「ネコである」です。日本代表の川口能活選手、メキシコ代表のカンポス選手、日本の真田選手の共通点は、背がさほど高くないことです。ただ、瞬発力、反応力がまさにネコです。真田選手の順天堂大学の試合を東京西が丘で何度も見ましたが、この人のバネはとてすごく、トランポリンの上で守っているような感じでした。川口選手と真田選手は同じ清水商業高校です。カンポス選手はフォワードもこなす二刀流で、身長は168cmです。それでもあの強いメキシコのキーパーをやっている、やっぱりネコなのです。私は小学5年生(10才)の時から47年間キーパーをやっていますが、ルールが相当変わりました。昔は危なくなるとディフェンスはキーパーに返してキーパーは手で取れ、スローインもキーパーに投げてもらってキーパーは手で取れましたが、今は全部反則です。更に、キーパーが持って6秒経つと反則になります。キーパーがボールを取って1回それを地面に落としてまた拾い上げるとその時点で反則です。1990年代でルールは大きく変わりました。キーパー用具も進化しています。派手なキーパーグローブがありますが、強い人のシュートだと100km150kmになるので、脱臼してしまうため、手の甲の指側のところに反らないためのバネが入っています。スパイクもキーパー用があり、踏ん張りやすかったりステップが切りやすかったりします。

サッカーは1975年までは関西、76年から首都圏開催になりました。その1年目の決勝で浦和南対静岡学園で5-4のシーソーゲームの結果、浦和南が全国を制しました。1970年代は埼玉勢が優勝準優勝3位をかなり連ねていました。75年の埼玉大会決勝で、浦和南対浦和西で浦和南が勝ち、全国大会でも優勝しました。翌年も同じで、埼玉0-0でPKの末、浦



和南が勝ちました。これを見ていた澁谷少年は、なぜか浦和西に行きたくてサッカーをやりたいと思いました。中学でそこそこ実績を積み、浦和西高校の門を叩きましたが、新入部員だけでも40名おり、全国経験者、県選抜、関東選抜という選手が多かったです。公立では珍しく校内に合宿棟があり、夏合宿になると1週間くらい、有名な先輩の方々が試合にきました。日本代表だった西野朗さんも先輩で、西野さんが20kgの重たいプレートを持って合宿に来ると、我々現役はとてまじびびってました。西高自体はとて自由な高校で、私服で、バイク通学もOKでしたが、サッカー部だけはとて厳しく、楽しいはずの高校生活はとて試練の3年間でした。今振り返っても、一番きつかったのはこの3年間でした。片道10kmを自転車で通い、朝練も任意でしたが走っていて、その時何度もランナーズハイを感じました。朝7時台にグラウンドをぐるぐる回っていると、いくらギアを上げてても全然疲れなのです。こんなことを何度も経験したのは、この高校生の時くらいです。更に、面白い規則があって、サッカー部はサッカー部以外の生徒との交流を禁止されていました。なぜなら、自由奔放な高校だったからです。学校へ行くとまず部室に行き、サッカー部だけは制服なのでジャージ



成蹊大学 体育会蹴球部 昇格入替戦(勝利)



富士ゼロックス「ALL FX Asia Pacific Friendly President CUP」



成蹊大学 OB コーチとして現役を支援



2021.11.03. 第21回浦和4校OB交流戦

に着替え、それから教室に出て、次の授業の前にまた部室に戻って次の教科書を持って移動します。昼はサッカー部員が全員集まって楽しくランチという、こんな規則でしたが、我々は従順に従っていました。そんな3年間でしたが、3年の4月に主将が亡くなってしまいました。それで最高学年の3年生がなかなかリズムが取れず、ベスト8くらいで予選敗退をしました。あっけなく、3年の10月～11月に終わりました。監督の勧めもあり、M大学のセレクションを受けました。そこそこ強いM大学で、名だたる選手がごちゃごちゃいました。どんなセレクションかというと、朝8時～9時にグランドに行って、午前中は英国数のペーパーテストを受け、午後は基礎体力のテストをし、試合形式の試験をして、夕方個人面談をしました。そこで合格を頂いたのですが、二部(夜間)でした。親と相談して色々悩んで、結局断ったのですが、あの時入っていたらどうだっただろうと今も振り返ることがあります。一通りセレクションが終わった時、当時もサッカーに追っかけていて、出口のところに女子高生がいました。澁谷選手は全く有名ではなかったのでスルーかと思ったのですが、サインを求められましたが、丁寧に真面目にお断りしました。大学浪人して怠惰な生活を送ってサッカー熱が殆どなくなり、サッカーと全く関係ない大学に行きましたが、入学式前に「ぜひ一緒にやりましょう」と1本電話がかかってきました。その電話がなかったら私の人生も変わっていたと思います。グランドに練習内容を見学に行き、高校に比べても全然でしたが、たまたま私が1年生で入学した時に新しく入ったOBコーチが私の心に火をつけてくれて、4年間サッカー漬けとなりました。ただ、浪人時代で12kg太って、当時はダイエットグッズがなかったので胸から腰までサランラップを巻いて、ひたすら走りました。すごい汗が出ます。窮屈なので動きづらくはありますが、3ヶ月で12kg痩せました。当時、東京都2部というリーグで、一番上が関東1部、関東2部、そして各都道府県の1部2部3部4部となっていて、上から4番目でした。やるなら関東でやりたいと画策していて、そこそこ上がっていきましたが、3年生の時にリーグ戦2週間前に大怪我をしました。中間ボールを相手のフォワードがスライディングしてきて、私はキーパーですから頭から突っ込んでスライディングして、ガツンと当たって、右足の後十字靭帯を見事に断裂し、オペ入院1ヶ月、リハビリ入院1ヶ月、サッカーができるまでトータル8ヶ月掛かりました。1年遅れて、4年の時に創部初の関東リーグに上げることができました。その後、1年間は大学OBコ

ーチとして活動していましたが、某クラブチームからお誘いを頂きました。当時はJリーグもなかったので、日本リーグでサッカーをやるか普通にサラリーマンになるか家業を継ぐか、でしたが、学校の先生が多かったです。誘われたチームに行ってみると、同期、先輩、有名人、日の丸を付けた選手がゴロゴロいました。そうした選手達と32才までサッカーを真剣にやりました。不真面目な部分もあり、国体合宿にも関わらず途中で抜け出して飲みに行って選抜に落ち、その年全国優勝したり、最後は中途半端なサッカー人生を送ってしまいました。最後の最後は本気の本気で勝負を掛けましたが、やはり32才ともなると24～25才の大学出の若い奴らにはついていけずに、レギュラー取れず引退しました。そうして私のサッカープレイヤーとしての人生は終わりましたが、実はゼロックスに入ったのはサッカーがきっかけです。昔も今もスポンサーはテイジンさん、ブーマさん、ゼロックスです。私のサッカーノートにはゼロックスのシールがガンガンに貼ってあり、いつの間にか自分で自分を啓蒙していたのかなと思います。会社でもサッカー活動をしています。我々の関連会社が海外にもあるので、そのチームを呼んで、アジアパシフィック大会をやるんじゃないかと、会社の各役員のところ提案して、予算を少しずつもらいながら数年企画しています。現在は、2008年から大学のコーチとしてやらせて頂いていて、今はこちらに来ているので小休止ですが、サッカー人気で部員が100名を超えています。週末、コーチとしてのコミュニケーションを取り、学生達を動かすための魔法の言葉を与えたり、約10年くらいやっています。サッカーを通じて何ができたのかというと、プレイヤーとして教えるというよりは、やはり学生なので4年間で卒業してサラリーマンになるので、世に出しても恥ずかしくない学生の人格づくりというところを教えていったのかなと思います。挨拶や、負けない心、折れない心、楽しむ心、心の姿勢を教えてきて、逆に自分も学んできたのかなと感じています。サッカーが私の中の中心で、もう2年半で定年になりますが、定年後もサッカーで生活のリズムを作っていきたいと考えています。

